

広報 おおくら 12

おかえり、なりわい灯す きよらなる里

令和3年
No.748

特集

森に行く。
木とふれあう。

● COVER ふかふかのブナ林を歩く

鳥川桜公園



◀ 枯れ木の伐採やてんぐ巣病になった樹木の治療が行われた。
▼ 地区行事の「春の花見」。住民が桜公園に集まり、わいわいとした雰囲気。



みんなで集まって満開の桜の下でお花見を



齋藤義廣さん(鳥川)

最上川を臨むことができるこの場所は、自分たちの先輩方が草地だった場所に桜を植えて以来、地域住民が集える憩いの場所として親しまれています。その桜も近年では枯れてしまったり、てんぐ巣病で花が咲かなくなったりした枝が増えてきました。鳥川地区では7年前からやまがた緑環境税の事業を活用して、夏には草刈り、秋には桜の枝の手入れなどを地域住民の手で行っています。そのおかげで、毎年少しずつですが

整備を進めることができています。地区の春の行事では、竜神様や三吉神社のお祭りに合わせてみんなで集まり、花見を一緒に楽しんでいます。山菜も出始める時期ですので、山の食材も一緒に、その年々でカド焼きや焼き肉などを桜を見ながら味わっています。ここ2年は新型コロナウイルスの影響で春の花見は実施できていませんが、また桜が咲き誇るこの公園にみんなで集まり、花見をすることを楽しみにしています。



特集 森に行く。木とふれあう。

大蔵村の面積のうち約80%が山林です。豊かな自然に囲まれるように私たちは生活しています。やまがた緑環境税を財源とした「みどり豊かな森林環境づくり推進事業」により、村内各地でさまざまな活動が行われています。豊かな里山などの資源を生かし、育んでいくには、どうしたらよいか考えます。

地域の方々にとって、身近な里山でもあるブナの森公園は保育所の子どもたちが遠足で訪れる場所でもあり、小学生が地域学習で訪れる場所でもあります。ここは誰でも自由に足を運ぶことのできる場所です。里山に身近にふれあえるこの場所の整備は、今もなお地域の人々によって続けられています。

誰もが足を運びやすい空間へ

9月19日、スコップやほうき、チェーンソーを手に、四ヶ村地域の14名のみなさんがブナの森公園に集合しました。この日行われたのは、男沼や展望台に続く遊歩道の整備。参加者は折れてしまったり、倒れてしまったりした木々をチェーンソーで70cmほどの長さに切り、運んでいきます。細い木をノコギリで加工し、遊歩道に階段を作りました。また、壊れてしまった道標を抜いて、穴を掘り、新しい道標への付け替えが行われました。

地域住民の手で遊歩道を再生

後は地域の子どもの遊び場や人々を癒す場所として親しまれてきました。また、この公園は貴重な生き物の宝庫でもあり、ルリイトトンボや珍しい水生植物が生息しています。

四季折々の顔を見せるブナ
地域住民の手で
足を運びやすい遊歩道へ

ブナの森公園



1

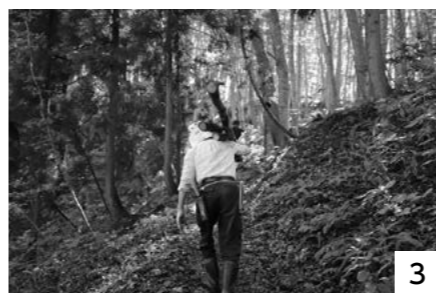
1_力仕事もなんのその。壊れてしまった標識を新しいものに交換 2_訪れた人が見やすいようにと雨風により汚れてしまった看板もきれいに 3_伐採した木を担いで運んでいきます。運んだ木は遊歩道の階段に 4_遊歩道を登って行くと展望台に到着。ここからの眺めは格別 5_展望台にはブナの実がたくさん



5



4



3



2



秋の
収穫



1_ほだ木にドリルで穴を開けます 2_地域の先生が植菌の仕方を説明 3_心地よいブナ林の中で作業 4_力を合わせてほだ木を運びます 5_テンポよくドリルで穴を開けていきます 6_ナメコのもとになる菌駒に興味深々 7_菌駒を金づちで植えていきます

植えて収穫して、木のめぐみにふれる 里山で学ぶ ナメコの栽培



1_「巨大ナメコだー!」 2_やさしくていねいにナメコを収穫 3_「ナメコゲット!」 4_落ち葉の間から顔をのぞかせた原木ナメコ 5_地域の先生が原木栽培されたナメコの特徴を説明 6_説明を受けたことや気づいたことを熱心にメモする子どもたち



春の
植菌

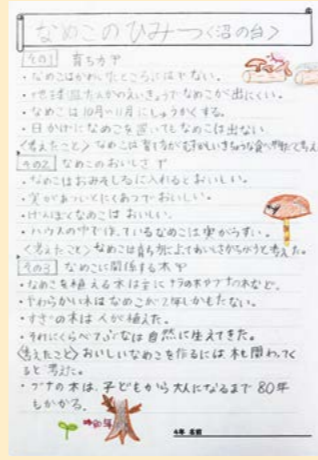


大蔵小学校 4学年担任
阿部 由紀子 先生

interview 里山で木にふれ、地域にふれる

子どもたちはブナの森公園での学習をとて楽しみに、「どうやって、ナメコになっていくのかな?」「どんな風に生えてくるのかな?」と想像を膨らませていました。自然の中で育ったナメコを見て、「知っているナメコと違う!」「肉厚でおいしそう!」など、それぞれが感想を話してくれました。家に持ち帰って、みそ汁にしたり、うどんに入れたりして食べたようです。実は初めて見たり知っ

たりすることも多く、子どもたちにとってはすべてのことが新鮮。お店で売っているナメコと自分たちが収穫したナメコを比較していました。実際に里山で木にふれることで、自分たちの生活につながりを感じることが出来ます。地域にふれることで、地域のことを自分のこととして捉えることができ、自分だったら何が出来るかを考えることにつながっています。



木を生かして自然のめぐみを得る
原木きのこの栽培を体験

木のさまざまな活用方法の一つに原木きのこの栽培があります。原木きのこの栽培は地域で伝統的に取り組まれてきた木の活用方法です。大蔵村では、小学4年生になると原木きのこの栽培の体験を実施しています。ブナの森公園をフィールドに、6月にほだ木への植菌、11月にナメコの収穫を行っています。この学習を地域の先生として支えるのは、森林整備やきのこの栽培などの活動をしている四ヶ村森林活用協議会代表 石川春雄さん・豊牧のみなさんです。子どもたちに植菌の仕方や収穫の仕方を指導するのはもちろんのこと、どんな環境が栽培に適しているか、里山を守るこの大切さなどを子どもたちに伝えていきます。

子どもたちは植菌や収穫を通して自分たちが体験したことをそれぞれがイラストや文字でまとめています。子どもたちは、身近な自然や地域社会に関わり、体験的に学ぶことで表現する力も身につけています。

大蔵村保育所 小内仁美所長



木のおもちゃで
子どもたちの成長を促す

昨年度、2種類の木製おもちゃキッチンを制作していただいた時に、おままごとで使うまな板や包丁などの小道具も作っていただきました。どの道具も手になじむ大きさや形で、子どもたちは気に入って使っています。シンプルなデザインで、遊びの幅が広がるように、楽しめるように配慮していただいたと感じています。子どものおもちゃはプラスチック製品が多く、子どもたちが木にふれる機会が少なくなってきました。この事業で木製のおもちゃを導入できたことで、子どもたちが木にふれる機会が増えてきたと思います。木のおもちゃは木目があり、ぬくもりがあって、肌触りもいい。色々な種類の木を使っていたこともあり、おもちゃによって木の香りが異なることが印象的でした。自然のものや本物の素材は子どもたちを成長させてくれます。想像力も深まっていきます。木のおもちゃを活用しながら、子どもたちの成長を促していきたいと考えています。



大工 土田英也さん (台海)



たくさん遊ぶ中で
木のさわり心地や香りを

木は色々なものが作れて、加工しやすいという良さがあります。使うものや使う場所によって材木を選び、切ったり削ったりしながら、色々なものを作ることができます。自分自身、木を触っていたり、加工したりするのが楽しいです。平成30年度から保育所の子どもたちが遊ぶおもちゃの制作に携わっています。子どもたちが使うものですので、角を丸く仕上げたり、指を挟んだりしないようになど、安全面には気を遣いました。発達のためにも、子どもたちには指先をたくさん使ってほしいと思ったので、キッチンのおもちゃの蛇口は左右に捻れるものにした。火力を調整できるレバーをつけたりと工夫しました。木にはプラスチックにはない、優しいさわり心地があったり、木目があったり、何より独特の木の香りがあります。木によってその香りも違います。子どもたちにはこのおもちゃで木にふれあい、指先を動かしたり、考えたりしながらたくさん遊んでもらいたいですね。



おままごとではスパゲティや焼きそばを作っ
てあそんでいるよ！

保育所で始まった「木育」

「うわあ、すごい！」と木製のおもちゃに目を輝かせる子どもたち。木で作られたおもちゃのお披露目ではいつも「早く遊びたい！」というわくわくした様子です。

大蔵村では平成30年度から木製のおもちゃの制作を地元の大工さんへ依頼し、保育所へ導入しています。これまで、木製のブロックやビー玉を転がす滑り台、積み木、おままごとのキッチンなどが導入されています。木のぬくもりを感じながら遊ぶ木は長い時間をかけて育ち、長く使える素材です。時間の経



過とともに愛着が出て、使えば使うほどに味が出る。やわらかく、落ち着いた素材です。木のぬくもりは人の肌に近いので、安心感や癒しを与える効果があると言われています。子どもの時期に木のぬくもりの中で遊ぶことは大切なことです。木にさわったときの温かさ、柔らかさ、木そのものの香りや木目、木がぶつかったときの音など、触覚や嗅覚、視覚、聴覚を刺激する要素があります。木育は急速に発達する幼少期のすこやかな成長を促すものとして効果が期待されています。

子どもの頃から 木のぬくもりを

子どもの頃から木を身近に使うことで、木材との関わりを深めるとともに、豊かな心を育む「木育」。木で作ったおもちゃを保育所に導入する「木に親しむ環境づくり」が始まっています。



産業振興課 若槻 寛 課長補佐

里山や木とふれあう体験が
大蔵村の森林の循環につながる

大蔵村は林業事業体が少なく、木を出荷して生計を立てている人も少ないことから、山に人の目が向いてない状態が他の市町村よりも顕著です。近年、森林に関する国の制度が急速に進んでいます。平成31年に自分の山は自分で適正に管理しなければならぬという法律「森林経営管理法」が施行されました。村民のみなさん一人ひとりが自分の山に目を向けざるを得ない時代になってきています。戦後の植林政策から70年以上が経ち、伐採の時期を迎えた山林が増えています。伐採して使い、植えるというように、森林資源を循環利用する新しい時代に突入しています。

子どもたちが遊べる里山へ

やまがた緑環境税を活用して、さまざまな事業を展開しています。子どもたちを対象とした事業も多く実施しています。小さい頃から「山って大事なんだ」と印象づけることで、将来、山に意識が向くような大人になってもらえたらと願っています。

里山に子どもたちを連れていくと、子どもたちは周りを見渡して、興味を湧いて色々と気になる様子です。自然からたくさんの刺激を受けて、「知りたい！」という気持ちが高ぶってくるのではないのでしょうか。こちらが考えないような質問が次々に飛んできます。大人にとっては当たり前の里山も、子どもにとっては未知の世界なのかもしれません。

大蔵村のように自然豊かな場所に住んでいても、木と木の間をくぐって歩く機会は減ってきています。間伐して、山をきれいにしておいて、子どもたちが自由に木と木の間を歩けるようにしてあげたいですね。これから、森林に関する制度が変わっていく中で、特に森林所有者のみなさんにはお手間をかけることが増えてきますが、制度をご理解いただき、ご協力をお願いします。



村児童生徒教育講演会 金メダリストの水谷隼さんに学ぶ

11/9(火)、大蔵小学校で村児童生徒教育講演会が開催されました。講師は今年開催された東京オリンピックの卓球競技で金メダルを獲得した水谷隼さんです。水谷さんはこれまでの卓球選手生活やオリンピックでの経験を振り返り、「オリンピックで優勝することが小さい頃からの夢。目標や夢に向かう過程で成長することができる。夢を思いながら生活してほしい」と子どもたちにエールを送りました。また、子どもたちから寄せられた質問に答えるコーナーで「卓球で楽しいときやうれしい時はどんなときですか」との問いに「試合で勝って、家族が喜んでくれることが一番うれしい」と笑顔で答えていました。その後行われた実技では、全日本卓球選手権大会男子シングルスで優勝した及川瑞基選手も登場。世界トップレベルの試合や大蔵中卓球部との対戦などが行われ、回転のかかったサーブなど、目の前でプロの技を感じることができました。

- 1_東京オリンピック卓球競技の金メダルをかけ講演をする水谷さん
- 2_鋭い回転のサーブを披露
- 3_ラリーに声援を送る子どもたち
- 4_対決に勝利し、サイン入り卓球ボールを手にした卓球クラブに所属する二人
- 5_世界トップレベルの白熱したラリーに会場も熱気をおびた
- 6_サプライズで登場した及川瑞基選手



▲ これからやってみたいこととして「つる細工」も紹介

男女共同参画事業「最上で暮らす女性のためのシンポジウム」 大蔵村での取り組みを紹介

11/14(日)、新庄市で「最上で暮らす女性のためのシンポジウム」が県と最上8市町村の合同主催で開催され、地域で活躍する4人の女性がそれぞれの取り組みを紹介しました。大蔵村からは「えんがわサロンの会」代表の早坂絵梨奈さん(肘折)がパネラーとして出演。早坂さんは「サロンのスタッフが運営面での心の支えとなっている。身近なことを周りの人を巻き込んでやったらいい」と参加者へのエールも送りました。



▲ 音楽に合わせて親子でのスキンシップを楽しみました

子育てわいわいセミナー 音楽に合わせて親子でリトミック体験

11/16(火)、中央公民館で子育てわいわいセミナーが開催されました。このセミナーは乳幼児とその家族を対象に毎月開催しているもので、この日はピアノや歌に合わせて体を動かしたり、楽器を鳴らしたりするリトミック体験を楽しみました。山下真奈美さん(赤松)は「娘は音楽が好きで今日のリトミックも楽しめました。このセミナーでお友だちもできて交流の機会にもなっています」と話してくれました。



▲ 保護者が聞く中、プレゼンテーションを行いました

大蔵中学校「美しい村プロジェクト2021」 30年後も持続できる村づくりを提案

10/23(土)、大蔵中学校の文化祭で「美しい村プロジェクト」のプレゼンテーションが行われました。生徒は総合的な学習の時間で、チームごと企業訪問や調べ学習を行い、SDGsを意識した持続可能な村づくりのための新しい提案を発表しました。「来みんCaffe」を提案した加藤響さん(合海)は「若者が集えるカフェのような場所がほしいと感じていたので、空き家を活用したカフェを提案しました」と話してくれました。



▲ 訪れた人々はキレのあるダンスに盛大な拍手を送りました

華やかな衣装で息の合ったダンスを披露 Oh蔵SPORT キッズダンス発表会

11/3(水)、Oh蔵SPORTキッズダンス発表会が中央公民館、赤松生涯学習センター、肘折温泉街の3か所で開催されました。キッズダンススクールのメンバー7人とOGがヒップホップなどの音楽に合わせてダンスを披露しました。小学6年生の矢作汐織さん(清水二)は「先輩たちに憧れて、キッズダンスを始めて今年で6年目。家でも練習を重ね、楽しくみんなとダンスができました」と笑顔で発表会を振り返りました。



最上川さくら回廊事業 おおくら升玉水力発電所で記念植樹

11/6(土)、おおくら升玉水力発電所で山形新聞・山形放送主催の「最上川さくら回廊」事業の植樹式が行われました。家族や団体など15組約110名が集まり、それぞれが願いを込め、桜の植樹を行いました。参加した升玉地区のみなさんは「水力発電所ができて、こんなに賑やかに桜の植樹ができるのは夢にも思わなかった。桜が咲いて、ここで花見ができるまで元気でいたい」と話してくれました。



1_代表者記念植樹を囲んで記念撮影 2_記念植樹では代表者がしだれ桜を植樹 3_おおくら少女バレーボールスポーツ少年団 4_南山老人クラブのみなさん 5_家族で参加した大鳥和浩さんは「父のルーツが升玉。娘たちがこれからそれぞれの道に進む節目の記念になった」と話してくれました



安全な 除雪作業に ご協力ください



11/12 村道除雪出動式で安全を祈願

役場地域整備課 維持管理係 ☎75-2102(内線224)

日本一雪に強い村を目指して

❖ 除雪の要望は地区代表を通じて地域整備課にご連絡を！

村内に16台の除雪機械を配備し、生活路線の確保を行います。除雪車は原則、10cm以上の降雪があった場合に出動します。吹き溜まりや降雨などにより路面状況が悪化した時は状況に応じて出動します。毎日、午前7時30分までに終了することを目指して作業をしています。

安全な除雪作業のための6つのお願い

- 1. 道路に雪を出さないで！**
家庭の雪を道路に出すと、除雪作業に大幅な遅れが発生します。交通事故にもつながる可能性があります。道路に雪を出さないでください。
- 2. 除雪作業中は近づかないで！**
除雪作業には危険が伴います。絶対に近づいてはいけません！除雪作業中の道路では子どもを遊ばせないでください。
- 3. 除雪の障害になるものには赤い布を！**
除雪作業に支障をきたす可能性のある障害物には大きな赤い布をつけてください。
- 4. 路上駐車はしないで！**
路上に車が駐めてあると除雪作業ができません。事故の原因にもつながります。
- 5. 屋根から道路への落雪防止を！**
屋根から落ちた雪の除雪は行いません。また、屋根からの雪が歩行者や車に直撃すると重大な事故につながります。このような事故は建物所有者の責任になります。雪崩止めの設置で落雪を防止するようにしてください。
- 6. 雪かき後は流雪溝の蓋を閉めて！**
家庭での雪かき作業後に流雪溝の蓋を開けたままにしておくと、転落事故につながります。投雪作業の後はもちろん、休憩などで一時的に離れる場合も流雪溝の蓋は必ず閉めましょう。なお、蓋の閉め忘れや蓋がしっかり閉まっていない場合に除雪車が通過して蓋が破損した場合、自己負担による修繕となります。ご注意ください。
※国道・県道除雪に関するお問い合わせ先
最上総合支庁道路計画課 ☎22-1111(総合窓口)

VILLAGE NEWS

加藤富雄さん(合海)が 県交通安全対策協議会長表彰を受賞

10月25日(月)、山形県交通安全県民大会で加藤富雄さん(合海)が山形県交通安全対策協議会長表彰を受賞しました。加藤さんは村交通安全協会に20年間所属し、交通安全のために献身的に尽力されてきました。



また、45年間の無事故無違反も評価され、この度の受賞となりました。加藤さんは「速度は控えめ、車間距離をとり、きちんと確認をして運転をしています。これからも安全運転を心がけます」と話してくれました。おめでとうございます。

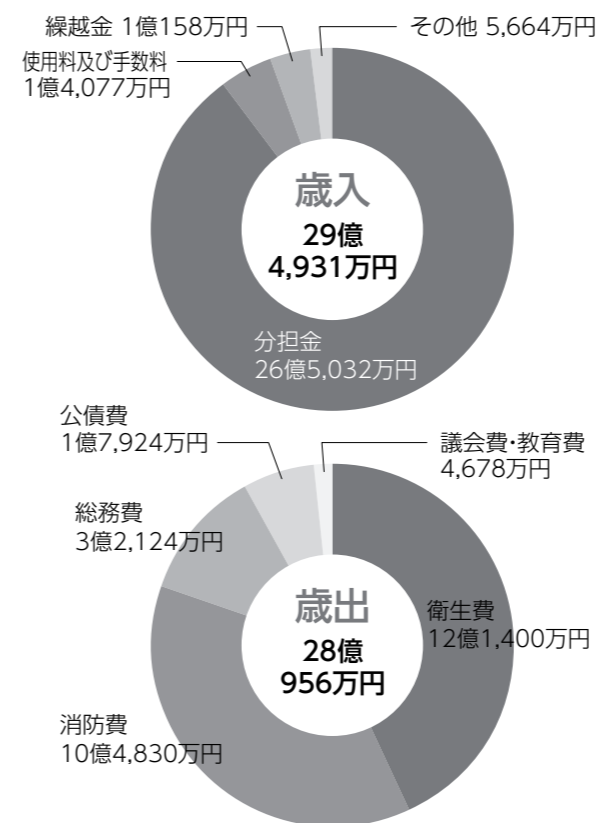
日本赤十字社山形県支部 災害救護活動用テントを村へ配備



11月12日(金)、日本赤十字社山形県支部から大蔵村へ災害救護活動用のテントを配備していただきました。幅6m×奥行3mのワンタッチで設営できるテントです。日本赤十字社山形県支部の白田洋一事務局長は「災害はもちろん、あらゆる機会でもテントを活用していただくことが、いざという時にすぐに活用できることにつながります」と話してくれました。ありがとうございました。

最上広域市町村圏事務組合の令和2年度決算を報告します

▶一般会計の構成



最上広域市町村圏事務組合は最上8市町村で構成されている一部事務組合です。一般会計の歳入総額は29億4,931万円(前年度比5,486万円の増)となり、分担金のうち、大蔵村の分担金は1億2,665万円となっています。歳出総額は28億9,566万円(前年度比1,422万円の増)となりました。歳出のうち衛生費ではエコプラザもがみのプラント設備点検整備等業務委託(3億8,830万円)、消防費では本署の救急車1台(3,461万円)などの事業を実施しました。

▶一般会計の主な事業

区分	決算額	対前年度
ゆめりお管理運営費	10,796	▲554
エコプラザもがみ管理運営費	68,687	8,502
リサイクルプラザもがみ管理運営費	20,130	▲1,050
もがみクリーンセンター管理運営費	31,474	▲41
消防・救急業務運営費	104,830	▲4,307
教育研究センター管理運営費	4,572	85
公債費(借入金返済)	17,924	▲3,192

▶特別会計決算

特別会計	歳入	歳出
最上広域ふるさと市町村圏事業	429	75

新型コロナウイルスワクチン追加接種（3回目）を実施します

新型コロナウイルスワクチンを2回接種した場合でも、時間の経過とともにワクチンの有効性や免疫原性が低下することが報告されています。大蔵村ではワクチンの追加接種について、国の方針に基づき、接種の準備を進めています。

▶対象者

2回目のワクチン接種が終了してから8か月以上経過した方

▶接種回数 1回

▶接種日程

2回目の接種が4月、5月に終了した方から1月下旬より順次開始の予定です

▶実施方法

集団接種で実施します。高齢者の集団接種はバス送迎を行います。

▶接種会場 大蔵村中央公民館

▶予診票・接種券などの案内

追加接種の開始時期に合わせて、対象者に案内と接種券を送付します。案内には具体的な接種方法や集合時間などを記載しますので、お手元に届くまでお待ちください。

☎村新型コロナワクチン接種対策班 ☎75-2324



第49回衆議院議員総選挙開票結果を報告します

衆議院小選挙区選出議員選挙・比例代表選出議員選挙の投票・開票が10月31日(日)に行われました。大蔵村の投票率は79.12%となり、県内1位の高い投票率となりました。大蔵村の開票結果を報告します。

▶大蔵村の投票率（小選挙区選出議員選挙）

当日有権者数	投票総数	投票率	県内順位
2,625人	2,077票	79.12%	1位

▶小選挙区選出議員選挙開票結果

候補者氏名	得票数
加藤 鮎子	1,460票
阿部 ひとみ	498票
梅木 威	93票

(有効投票:2,051票 / 無効投票:26票)

▶比例代表選出議員選挙開票結果

政党名	得票数	政党名	得票数
自由民主党	820票	社会民主党	55票
公明党	392票	れいわ新選組	55票
立憲民主党	373.800票	日本維新の会	53票
日本共産党	159票	NHKと裁判してる党 弁護士法72条違反で	24票
国民民主党	71.200票		

(有効投票:2,003票 / 無効投票:74票)

☎村選挙管理委員会 ☎75-2111(内線211)

法人・個人の事業主のみなさんへ償却資産の申告は1月31日まで

事業のために用いることができる固定資産のうち、構造物・機械・装置・車両・工具・器具・備品など(土地・家屋を除く)が償却資産となります。

▶申告が必要な方(いずれも令和4年1月1日が基準)

① 村内で事業をしている方で、事業用の資産を所有している法人や個人

② 償却資産を貸し付けている法人や個人

▶提出書類 償却資産申告書、償却資産明細書

▶提出締切 令和4年1月31日(月)

※前年度に償却資産の申告を行った方には前年度の償却資産状況の申告書をお送りしますので、変更箇所を加筆・修正して提出ください。

☎住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線251)

小型特殊自動車にナンバープレートを

乗用装置のあるトラクターや田植え機、コンバイン、フォークリフトなどは小型特殊自動車に該当します。公道を走行する、しないに関わらず、これらを所有していれば、軽自動車税が課税されます。軽自動車税の申告をし、ナンバープレート(課税標識)の交付を受けてください。

☎住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線251)

従業員等への給与支払いがあった場合は給与支払報告書の提出を忘れずに

▶給与支払報告書にはマイナンバーを記載

給与支払報告書とは、給与支払者(法人・個人事業主等)が給与所得者(従業員等)に対して、1月1日から12月31日までに支払った給与額等を市町村に報告する書類です。給与支払報告書にはマイナンバー(個人番号)の記載が必要です。

▶提出が必要な方

法人・個人事業主を問わず、従業員等への給与支払いがあった場合は「給与支払者」に該当し、給与支払報告書を市町村に提出することになって

います。 ※金額の多少や雇用形態に関わらず、すべての給与等について、給与支払報告書を提出する義務があります。

▶提出書類

- ・給与支払報告書(総括表)
- ・給与支払報告書(個人別明細書)

▶提出先

賦課期日(令和4年1月1日)現在、大蔵村に住所のある従業員等の給与支払報告書を住民税務課税務係に提出してください。

▶提出締切 令和4年1月31日(月)

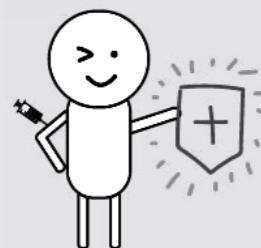
☎住民税務課 税務係 ☎75-2103(内線251)

診療所 深瀬龍先生の新型コロナこらむ



ワクチンの効果は時間とともに薄れる

3回目のワクチンで効果を維持させる!



第12回 3回目のワクチン接種

3回目の新型コロナウイルスのワクチン接種で予防効果を維持していきましょう



新型コロナウイルスのワクチンは接種してから時間が経過すると、感染を予防する効果が薄れてしまいます。そのため、全国で新型コロナウイルスのワクチン接種の3回目が行われることになりました。今回のワクチンの追加接種は薄くなった効果を後押しし、発症の予防効果を維持することに役立ちます。

大蔵村では12歳以上の約2,670人(令和3年11月12日現在)がワクチンの2回接種を終えています。2回のワクチン接種が終了してから8か月以上を経過した人を対象に順次、集団接種を行う予定です。ワクチンを集団で接種することは感染症の早期終息や死亡率低下など、数多くのメリットにつながることがわかってきています。新型コロナウイルスの終息にむけ、3回目のワクチン接種へのご協力をお願いします。

シリーズ 最上南部3町村縄文文化発信推進会議

09 繫げよう 縄文の輪

最上町の材木遺跡からの出土品

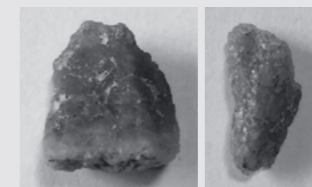
材木遺跡は約3200年前から2400年前の縄文時代晩期の遺跡です。昭和48年、最上町教育委員会が新庄北高校地歴部などの協力を得ながら、小規模な発掘調査を実施しました。その出土物には特徴的な文様で表面を飾った注口土器を含むさまざまな器種の土器のほか、石鏃や装飾品などが多く出土しました。



材木遺跡の出土品と緑色石英

希少性の高い「緑色石英」

当時、新庄北高校の地歴部員として調査に参加した三澤裕之氏(秀明大学教育研究所教授)は調査終了後も何度も同遺跡に足を運び、表面採集を実施し、翡翠にも似た緑色の鉱物を数多く発見。石材鑑定のもと、それはクロム(Cr)を含む全国的にも極めて希少性の高い石英であることが判明しました。この「緑色石英」は東北地



方中南部地域における、縄文時代終末期の地域間の交流やモノの流通を探る鍵となるかもしれません。

全国自治宝くじ
年末ジャンボ発売中!

2種類の年末ジャンボが12/24(金)まで販売しています。宝くじ売り場または宝くじ公式サイトでご購入ください。宝くじの収益は市町村の明るい住みよいまちづくりに使われています。

●県総務部財政課 ☎023-630-2044

すきま時間に動かそう
簡単にできるストレッチを紹介

自宅や職場で簡単にできるストレッチを紹介します。

▶ストレッチ体操のポイント

- ・息を止めない
・どこを伸ばしているかを意識
・イタ気持ちいいぐらいで
・できれば20秒ほど

▶左右5回ずつを目標に

▶股関節および体幹のストレッチ

膝を外側に開くようにするとより効果的です。



▶お尻周囲のストレッチ

おへそを前に出すイメージで体を前に倒すとより効果的です。



●県保険者協議会事務局 ☎0237-87-8002

生活応援ローン
ご利用ください

自動車購入や教育資金、医療介護費など幅広く利用できます。

▶対象者

大蔵村にお住まいの勤労者の方で、会社や商店に1年以上勤務している方

▶融資金額

100万円以内~300万円以内

▶融資金利

固定金利で年1.25%~2.75%

▶融資期間

7年~10年以内 ※ローンの詳細は労働金庫にお問い合わせください。

●東北労働金庫新庄支店 ☎22-7151

やまがた縁結びたい
結婚相談会

▶とき 12/11(土)13:00~17:00
▶場所 やまがたハッピーサポートセンター最上支所

▶対象者

結婚を希望する方4名(本人が出席できない場合は親御さんも可)

▶申込方法

電話申込

▶申込締切

12/9(木) ●やまがたハッピーサポートセンター山形センター ☎023-687-1972

令和4・5年度
国有林モニターの募集

東北森林管理局では国有林野の管理経営にみなさまの声を役立てていくため、モニターを募集しています。

▶任期 令和4年4月1日から2年間

▶内容

アンケートへの回答、現地見学会、国有林モニター会議への出席など

▶募集人員

48名程度

▶募集締切 1/31(月)※当日必着 ※募集資格や応募方法などは東北森林管理局ホームページをご覧ください。
▶お問い合わせください。

●東北森林管理局企画調整課 林政推進係 ☎018-836-2228

クロスボウの
無償引き取りについて

銃砲刀剣類所持等取締法の改正に伴い、クロスボウが所持禁止の対象となります。警察では危害予防上の観点からクロスボウの無償引き取りを実施しています。クロスボウを所持している方は令和4年9月14日までに手放すか、令和4年3月15日から同年9月14日までに所持許可を申請しなければなりません。クロスボウの引き取りを希望する方は最寄りの警察署に連絡してください。

●県警察本部生活安全企画課 ☎023-626-0110

新庄市夜間休日診療所
のご案内

▶新庄市保健センター内に開設 ☎29-6300

▶診療科目

内科・小児科

▶夜間受付(月~土)

18:30~21:00

▶休日受付(日・祝日・12/31~1/3)

8:30~11:30/13:00~16:30 ●新庄市健康課健康推進室 ☎22-2111

編集
後記

取材時に、ブナ林を歩きながら、子どもたちに「村の木って何の木か知っている?」と聞くと、知らない子どもも多かったです。そう、村の木は「ブナ」ですね。四季折々に色が変化するブナ林は何度行っても清々しい場所です。特に、雪どけとともに芽吹くやさしい緑色を感じることのできる春のブナ林が私の

お気に入りです。村内には沼の台のほかにも、いくつかのブナ林があります。滝の沢から舟形町に通じる、林道松橋滝の沢線のブナ林も格別で...! 来年は足を運んでみたいと思います。さて、今年も残すところ1か月。本格的な雪のシーズンも同時に到来です。今シーズンはどんな雪の降りっぷりになるのでしょうか。ドキドキの冬が始まりますね。

COVER

表紙の写真

ナメコの収穫をした後、子どもたちはブナ林へ探検にでかけました。一面に敷かれたふかふかの落ち葉の上を歩き、森と海との関係性を学習しました。

撮影日: 11月5日
撮影場所: ブナの森公園

大蔵村環境衛生通信 vol.82

減らそう! 食品ロス

▶食品ロスとは?

食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」と言います。日本では年間600万トン以上の食品ロスが発生しています。そのうち半分の約300万トンが家庭から発生しており、日本人一人あたり毎日お茶わん1杯分の食べ物を捨てている計算になります。

食べられるのに捨てた理由は?

- 1位 食べ残し 57%
調理したけれど食べなかった
2位 傷んでいた 23%
保存していたら傷んで食べられなくなった
3位 期限切れ 11%
消費期限・賞味期限が切れてしまった

▶食品ロスを減らす効果的な方法

- 1. 買い物に行く前に食材をチェックしよう
買い物に行く前に冷蔵庫や食品庫の食材をチェックし、使い切れる分だけ計画的に買いましょう。
2. 食材の整理整頓を心がけよう
家での収納のポイントは「見える化」。期限の近い食品を手前に置くようにするのもおススメです。
3. 無駄なく調理し、食べ切ろう
家族で食べ切れる分だけを調理し、作りすぎない。残った料理はリメイクしおいしく食べ切りましょう。
※年末年始はさまざまな行事で食品が増える時期ですが、各家庭で食品ロスの削減に取り組みましょう。
●健康福祉課 健康衛生係 ☎75-2104 (内線272)

読んであげたい今月の1冊に

絵本とお話の会 フレデリック

📧 今月の1冊 📧

「クリスマスには
おくりもの」
作 五味 太郎



(絵本館)

クリスマスイブのお話です。真夜中にサンタクロースがある女の子の家に行ってきました。サンタクロースがプレゼントをくつしたに入れようとしたら、「おや? なにかはいっているぞ?」。それは女の子からサンタクロースへのプレゼントでした。サンタクロースはうれしい気持ちでプレゼントを受け取りました。

相手をおもてなすことが大切だと気づいたお話です。

- 中央公民館でかりることができます
●読み聞かせ時間 2分

戸籍の窓

10月16日~
11月15日届出分

お誕生おめでとう

Table with columns: 地区, お名前, 保護者名. Includes entries for 白須賀 土田 拓夢くん 徹.

お悔やみ申し上げます

Table with columns: 地区, お名前(年齢), 世帯主. Includes entries for 沼の台 佐藤 タキ(94) 益美, 金山 長南文太郎(93) 義孝, 滝の沢 門脇 エイ(95) 邦義.

※届出の際に、掲載希望の確認を行っていただきます。担当窓口にお申し出ください。

人のうごき

令和3年10月末現在 ()は昨年同期

Table showing population statistics: 世帯数, 人口, 男女別人口, 出生, 死亡, 転入, 転出.

12月の予定

- 3日(金) 肘折保育所お遊戯会
7日(火) 人権擁護特別相談
9・10日(木・金) 村議会12月定例会
15日(水) ヘルシーティース
16日(木) ふるさと味来館みずき団子付け

村税の納期限

- 税目 村県民税 第4期
国民健康保険税 第6期
納期限 12月27日(月)
納期限まで忘れずに納税しましょう。口座振替の方は残高の確認をお願いします。





ORAENOMENGO

今月のおおくらっ子

村内の子どもたちを紹介しています。親戚やお友達、ご近所のお子さんの掲載もお楽しみに！



お名前 ^{よした}半田 遥泰くん (草介)
地区 合海
好きなもの 白いご飯・からあげ



お名前 ^{ほのか}沓澤 穂佳ちゃん (宏樹)
地区 合海
好きなもの トマト・すみっコぐらし



大蔵小学校に
東京オリンピック
卓球金メダリストの
水谷隼さんが
やってきたよ！

⑤2 教育講演会 おおくらくん×水谷隼さん

今月の「みつどご、
おもしえどご」



実はぼくも
卓球はじめたんです！
一緒にやりましょう！

全日本卓球選手権大会
男子シングルス王者の及川
瑞基選手がサプライズ登場！

わあー！すごい！プロの技！
回転サーブに、高速スマッシュ！
ぼ、ぼくの入る隙がない…



ぼくも次の
パリオリンピックの
日本代表になれるように
練習がんばるぞ！

